



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社ファルテック

上場取引所 東

コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文屋 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	42,530	1.7	678	427.9	428	186.6	1,238	
2019年3月期第2四半期	43,287	3.5	128	73.6	149	67.9	149	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,262百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 474百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	132.11	
2019年3月期第2四半期	15.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	70,730	19,770	25.2	1,903.72
2019年3月期	71,297	18,779	23.7	1,800.88

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,852百万円 2019年3月期 16,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		29.00	29.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	1.9	2,100	2.0	2,250	1.1	2,000	92.5	213.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	9,378,600 株	2019年3月期	9,378,600 株
2020年3月期2Q	628 株	2019年3月期	628 株
2020年3月期2Q	9,377,972 株	2019年3月期2Q	9,377,976 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の保護主義的な政策の影響や米中の貿易摩擦に対する警戒感、英国のEU離脱問題等により世界経済の不確実性が増しており、国内においても堅調な企業収益や雇用等の改善傾向に一服感が見られ、景気回復基調が崩れつつあります。当社グループの属する自動車業界の概況は、海外における不確実性が増す中で先行きに不透明感が出てきております。

このような情勢の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、グローバルでお客様生産台数減の影響を受け42,530百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

営業利益は、海外の売上高減少に伴う利益減影響があったものの日本セグメントにおいて現場改善活動が進んだこと等により、678百万円（前年同期比427.9%増）となりました。経常利益は、営業外費用として北米子会社の取扱製品見直しに伴う在庫処分損74百万円や藤沢物流センター閉鎖に伴う事業所閉鎖損71百万円等を計上しましたが、営業利益増を主因として428百万円（前年同期比186.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、藤沢物流センター閉鎖に伴う固定資産売却益1,525百万円等を計上し1,238百万円（前年同期は149百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

（日本）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、前期立ち上り新規車種の生産が当第2四半期連結累計期間を通して寄与したこと等により、33,171百万円（前年同期比1.8%増）となりました。セグメント利益は、現場改善活動が進んだことや操業増効果等により、566百万円（前年同期は30百万円のセグメント損失）となりました。

（アジア）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産減の影響等により5,074百万円（前年同期比10.6%減）となりました。セグメント利益は、操業減影響等により、342百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

（北米他）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産減の影響や北米子会社の取扱製品見直し影響等により4,285百万円（前年同期比14.6%減）となりました。セグメント損失は、操業減影響等により、289百万円（前年同期は267百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ566百万円減少し、70,730百万円となりました。この変動要因は、流動資産の減少1,230百万円、固定資産の増加663百万円によるものであります。流動資産の減少の要因は受取手形及び売掛金の減少2,124百万円、たな卸資産の増加528百万円等によるものであります。固定資産の増加の要因は、藤沢物流センター閉鎖に伴う土地の減少等805百万円がある一方で、建設仮勘定の増加1,164百万円、リース資産の増加530百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1,557百万円減少し、50,959百万円となりました。この変動要因は、流動負債の減少1,977百万円、固定負債の増加419百万円によるものであります。流動負債の減少の要因は、電子記録債務の減少1,141百万円、支払手形及び買掛金の減少463百万円等によるものであります。固定負債の増加の要因は、長期借入金の増加487百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ990百万円増加し、19,770百万円となりました。この変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1,238百万円、配当金支払による減少271百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.5ポイント増加し、25.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は10,218百万円となり、前連結会計年度末比で241百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、1,456百万円（前年同期は730百万円の資金の使用）となりました。主な資金の増加は、減価償却費2,069百万円、売上債権の減少2,042百万円等であります。主な資金の減少は仕入債務の減少1,554百万円、たな卸資産の増加566百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、1,860百万円（前年同期比2,007百万円の減少）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出4,445百万円、有形及び無形固定資産の売却による収入2,644百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、717百万円（前年同期比253百万円の減少）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入2,700百万円、長期借入金の返済による支出1,762百万円、短期借入金の純減少額362百万円等あります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,976	10,218
受取手形及び売掛金	19,926	17,801
商品及び製品	3,367	3,521
仕掛品	568	599
原材料及び貯蔵品	2,993	3,338
その他	1,757	1,881
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	38,575	37,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,425	9,506
機械装置及び運搬具（純額）	8,373	7,992
工具、器具及び備品（純額）	1,281	1,359
土地	6,983	6,178
リース資産（純額）	940	1,470
建設仮勘定	1,810	2,974
有形固定資産合計	28,814	29,481
無形固定資産	1,093	1,128
投資その他の資産		
投資有価証券	324	330
繰延税金資産	1,933	1,933
その他	561	517
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,813	2,775
固定資産合計	32,721	33,384
資産合計	71,297	70,730

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,114	8,650
電子記録債務	5,927	4,785
短期借入金	9,713	9,350
1年内返済予定の長期借入金	5,144	5,543
リース債務	703	864
未払法人税等	298	709
賞与引当金	949	753
その他	4,957	4,171
流動負債合計	36,808	34,830
固定負債		
長期借入金	8,773	9,261
リース債務	192	586
退職給付に係る負債	5,451	4,985
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	285	288
固定負債合計	15,709	16,129
負債合計	52,517	50,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	11,668	12,562
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,568	15,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	74
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,935	2,040
為替換算調整勘定	1,229	1,097
退職給付に係る調整累計額	△923	△822
その他の包括利益累計額合計	2,320	2,390
非支配株主持分	1,890	1,917
純資産合計	18,779	19,770
負債純資産合計	71,297	70,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	43,287	42,530
売上原価	38,000	36,939
売上総利益	5,286	5,591
販売費及び一般管理費	5,158	4,912
営業利益	128	678
営業外収益		
受取利息	10	15
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	31	22
未払配当金除斥益	53	-
その他	64	65
営業外収益合計	167	110
営業外費用		
支払利息	68	110
為替差損	29	72
事業撤退損	-	74
事業所閉鎖損	-	71
その他	49	32
営業外費用合計	147	361
経常利益	149	428
特別利益		
固定資産売却益	-	1,525
課徴金返還額	-	59
補助金収入	17	-
特別利益合計	17	1,585
特別損失		
固定資産除売却損	17	17
特別損失合計	17	17
税金等調整前四半期純利益	149	1,995
法人税等	209	702
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60	1,293
非支配株主に帰属する四半期純利益	89	54
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△149	1,238

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△60	1,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△4
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	-	32
為替換算調整勘定	△516	△159
退職給付に係る調整額	121	101
その他の包括利益合計	△413	△30
四半期包括利益	△474	1,262
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△485	1,236
非支配株主に係る四半期包括利益	11	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	149	1,995
減価償却費	1,909	2,069
のれん償却額	4	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55	△195
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△273	△348
受取利息及び受取配当金	△18	△23
支払利息	68	110
持分法による投資損益 (△は益)	△31	△22
固定資産除売却損益 (△は益)	17	△1,508
課徴金返還額	-	△59
売上債権の増減額 (△は増加)	29	2,042
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,013	△566
仕入債務の増減額 (△は減少)	△749	△1,554
その他	103	△262
小計	140	1,676
利息及び配当金の受取額	18	23
利息の支払額	△67	△113
課徴金の返還による収入	-	59
課徴金の支払額	△149	-
法人税等の支払額	△673	△189
営業活動によるキャッシュ・フロー	△730	1,456
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,828	△4,445
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	2,644
投資有価証券の取得による支出	△0	△10
長期前払費用の取得による支出	△44	△48
その他	6	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,867	△1,860
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,290	△362
長期借入れによる収入	4,400	2,700
長期借入金の返済による支出	△1,248	△1,762
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△737	△632
セール・アンド・リースバックによる収入	255	1,046
配当金の支払額	△406	△271
財務活動によるキャッシュ・フロー	971	717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△115	△73
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,740	241
現金及び現金同等物の期首残高	13,130	9,976
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	893	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,283	10,218

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（IFRS第16号「リース」の適用）

米国を除く在外連結子会社において、国際財務報告基準（IFRS）第16号「リース」（2016年1月13日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（会計上の見積りの変更）

（退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更）

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として12年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を10年に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,596	5,674	5,016	43,287	-	43,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	594	73	19	687	△687	-
計	33,191	5,747	5,036	43,975	△687	43,287
セグメント利益又は損失 (△)	△30	435	△267	137	△8	128

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,171	5,074	4,285	42,530	-	42,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	468	91	0	560	△560	-
計	33,640	5,165	4,285	43,091	△560	42,530
セグメント利益又は損失 (△)	566	342	△289	618	60	678

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。